

TAKENAKA

地球は今、どんな夢を
見ているのだろうか。

©Lisa Vogt / MC Planning, Inc.

次世代の環境は、
今つくられている。

想いをかたちに

 竹中工務店

 Amway Nature Center



各地で展開しているナショナル・トラスト活動の全国組織として、1983年に設立した「ナショナル・トラストを進める全国の会」を引き継ぎ、1992年に環境庁の認可を得て活動を開始しました。全国でのナショナル・トラストの推進のため、トラスト地の取得をはじめ、国内外のトラスト団体との交流、法制度の政策提言、企業との連携による普及啓発などの活動をしています。

企業の皆様へ
各種講演会への講師の派遣、トラスト地を題材とした写真の貸出・展示会の実施、CSRとしてのチャリティーイベント等の企画・実施などを行っています。
お気軽にご相談ください。

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル tel.03-5979-8031 fax.03-5979-8032 www.ntrust.or.jp

【第28回】

ナショナル・トラスト 全国大会

in 東京



日時 平成23年3月6日(日) 14時~19時
会場 主婦会館プラザエフ
主催 (社)日本ナショナル・トラスト協会
後援 環境省



プログラム

14:00	開会挨拶	社団法人 日本ナショナル・トラスト協会 会長 愛知 和男
14:10	特別講演	日本熊森協会 会長 森山 まり子氏 「クマたちが棲む、豊かな森の守り方 ～三重県大台町『水源の森トラスト』を事例に～」
15:10	休憩	20分間
15:30	トラスト活動報告	公益財団法人 柿田川みどりのトラスト 監事 酒井 慶助氏 「独力で公益認定を受ける壁とその克服」 はちのへ小さな浜の会 事務局 高橋 晃氏 「種差海岸の生物多様性と国立公園化の動き」 財団法人 日本生態系協会 理事 堂本 泰章氏 「関東で始まるトキ・コウノトリの舞う魅力的な地域づくり」
16:45	閉会挨拶	社団法人 日本ナショナル・トラスト協会 副会長 池谷 奉文
17:00～19:00	交流会	7F カトレア 当日参加も可能です。会費3,000円は受付でお支払いください。

- 全国に広がる
- ナショナル・トラストの輪

市民や企業のみなさまの善意により、豊かな自然や歴史的な環境を買い取り、将来の人々のために永久に守っていくナショナル・トラスト。
日本では、1960年代半ばに鎌倉から始まった活動は、全国で約9000ha、50以上の地域にまで広がりました。
昨年の生物多様性COP10の開催に続き、今年は国際森林年を迎え、ナショナル・トラストへの期待は高まっています。
そのような中、今年度特に注目を集めた活動や、次年度に向け発展が期待される活動についてご報告いただき、更なるナショナル・トラストの推進につなげていきます。



2010年10月に取得した三重県大台町「水源の森トラスト」

- 報告団体の
- 概要

日本熊森協会
兵庫県西宮市

ツキノワグマの捕殺の記事を見た中学生の「クマを守って」という訴えをきっかけに1992年に前身となる保護団体を設立。森の生態系の頂点にあたる野生のクマが生息していける豊かな自然を次世代へと残していくため、森の復元、環境教育、行政への提言などの活動を全国的に展開している。

(財)日本生態系協会
東京都豊島区

自然と共存し持続する国づくり・まちづくりに向けた調査・研究、普及啓発、政策提言などを進めるシンクタンク。多くの生き物が生息する豊かな自然地の確保を通じ、全国的なエコロジカル・ネットワークの形成に向けたトラスト活動を進めている。



はちのへ小さな浜の会
青森県八戸市

ウミネコの繁殖地として有名な蕪島から続く種差海岸は、小さな集落や漁港が点在し、その間に奇岩、松林、磯浜が連なっている。多くの海岸では失われてしまった昔ながらの美しい風景を残していくため、海岸の清掃やイベント等を通じ保全の意識啓発に取り組んでいる。



(公財)柿田川みどりのトラスト
静岡県清水町

湧水量1日100万トンを超える富士山麓最大の湧水、柿田川湧水群。1975年に保護活動が始まり、流域の樹木伐採をきっかけに1988年、トラスト団体を発足させる。流域の湿地帯・樹林を保全し、生態系を守る活動をしている。

